

注3

大学番号：私056

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

千葉工業大学 工学部 機械電子創成工学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人千葉工業大学
平成29年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務部 総務課
職名・氏名	ソウムカチョウ 総務課長 千代田和夫
電話番号	047-478-0208
（夜間）	047-475-2111
F A X	047-478-0259
e-mail	soumu@p.chibakoudai.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
 (◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
 例)
 ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<機械電子創成工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人千葉工業大学

(2) 大学名

千葉工業大学

(3) 大学の位置

(津田沼校舎)

〒275-0016

千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号

(新習志野校舎)

〒275-0023

千葉県習志野市芝園2丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(セトクマ オサム) 瀬戸熊 修 (平成24年2月)		
学長	(コミヤ カズヒト) 小宮 一仁 (平成24年6月)		
学部長	(ヒラツカ ケンイチ) 平塚 健一 (平成27年4月)	(オオチ マサシ) 相知 政司 (平成29年4月)	学内人事異動のため(29)
学科長等	(ナガセ リョウ) 長瀬 亮 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械電子創成工学科 学士(工学)	工学関係	4年	110人	-年次人	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	平成26年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	-人 (-) [-]	110人 (-) [-]	-人 (-) [-]	110人 (-) [-]	-人 (-) [-]	1.17倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	4,906 (-) [2]	- (-) [-]	4,624 (-) [1]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	4,784 (-) [2]	- (-) [-]	4,510 (-) [1]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	672 (-) [1]	- (-) [-]	994 (-) [0]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	127 (-) [1]	- (-) [-]	132 (-) [0]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.15	-	1.20	-		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, **計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	127 [1] (-)	- [-] (-)	139 [0] (7)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	平成29年度在学者2年次、転部転科制度による転入者3名、転出者1名 (H29)
2年次	/		120 [1] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	127 [1] (-)		259 [1] (7)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	- 人	平成26年度	人	人		#VALUE! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	- 人	- 人	平成27年度	人	人		#VALUE! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	127 人	2 人	平成28年度	0 人	0 人	勉学意欲の喪失(1人)、学業不振(1人)	1.57 %
			平成29年度	2 人	0 人		
平成29年度 入学者	132 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	259 人	2 人					0.77 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 機械電子創成工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
教 養 基 礎 科 目	ステップアップ・イングリッシュ1	1前		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼12 関係上、担当教員を追加した。(28) 兼13 習熟度別に開講しており、クラス編成の 関係上、担当教員を追加した。(29)
	英語コミュニケーションA1	1前		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼15 関係上、担当教員を追加した。(28)
	ステップアップ・イングリッシュ2	1後		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼12 関係上、担当教員を追加した。(28)
	英語コミュニケーションA2	1後		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼17 関係上、担当教員を追加した。(28) 兼19 習熟度別に開講しており、クラス編成の 関係上、担当教員を追加した。(29)
	英語コンプリヘンションA1	2前		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼15 関係上、担当教員を追加した。(29)
	アドバンスト・コミュニケーションA1	2前		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼13 関係上、担当教員を追加した。(29)
	英語コンプリヘンションA2	2後		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼14 関係上、担当教員を追加した。(29)
	アドバンスト・コミュニケーションA2	2後		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼13 関係上、担当教員を追加した。(29)
	センテンス・ストラクチャ1	1前		1								兼6 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼20 関係上、担当教員を追加した。(28) 兼19 習熟度別に開講しており、該当クラスの 開講数が減少したため。(29)
	英語コミュニケーションB1	1前		1								兼4 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼24 関係上、担当教員を追加した。(28) 兼22 習熟度別に開講しており、該当クラスの 開講数が減少したため。(29)
	センテンス・ストラクチャ2	1後		1								兼6 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼24 関係上、担当教員を追加した。(28) 兼19 習熟度別に開講しており、該当クラスの 開講数が減少したため。(29)
	英語コミュニケーションB2	1後		1								兼4 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼26 関係上、担当教員を追加した。(28)
	アドバンスト・コンプリヘンションB1	2前		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼16 関係上、担当教員を追加した。(29)
	アドバンスト・コミュニケーションB1	2前		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼20 関係上、担当教員を追加した。(29)
	アドバンスト・コンプリヘンションB2	2後		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼17 関係上、担当教員を追加した。(29) 兼19
	アドバンスト・コミュニケーションB2	2後		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼15 関係上、担当教員を追加した。(29)
	英語コンプリヘンションC1	1前		1								兼7
	英語コミュニケーションC1	1前		1								兼9 習熟度別に開講しており、該当クラスの 兼2 開講数が減少したため。(28)
	英語コンプリヘンションC2	1後		1								兼7
	英語コミュニケーションC2	1後		1								兼9 習熟度別に開講しており、該当クラスの 兼2 開講数が減少したため。(28)
	アドバンスト・コンプリヘンションC1	2前		1								兼7 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼8 関係上、担当教員を追加した。(29)
	アドバンスト・コミュニケーションC1	2前		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼4 関係上、担当教員を追加した。(29)
	アドバンスト・コンプリヘンションC2	2後		1								兼7 習熟度別に開講しており、該当クラスの 兼5 開講数が減少したため。(29)
アドバンスト・コミュニケーションC2	2後		1								兼9 習熟度別に開講しており、クラス編成の 兼4 関係上、担当教員を追加した。(29)	
日本語表現法	1前		1								兼10 全学共通科目で開講しており、クラス数 増加の為、科目担当者を追加した。 (28) 兼12 全学共通科目で開講しており、クラス数 兼14 増加の為、科目担当者を追加した。 (29)	

教養基礎科目	情報リテラシー	情報処理	1前・後	2							兼9 兼4	全学共通科目で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(28)
	人間力養成	スポーツ科学 初年次教育 キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3	1前・後 1前 1前 1後 3前	2 1 1 1 1				+				兼9 兼1 兼1 兼1
教養共通科目	国際理解	異文化理解 言語と文化1 言語と文化2 グローバル時代の法 国際社会論	1前・後、2前 1前・後、2前 1前・後、2前 3前・後、4前 3前・後、4前	2 2 2 2 2							兼6 兼1 兼9 兼13 兼9 兼13 兼3 兼3	全学共通科目で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(29) 全学共通科目で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(28)
	人間・社会・自然の理解	哲学 倫理学 文学と芸術 歴史と人間 心理学	1前・後、2前 1前・後、2前 1前・後、2前 1前・後、2前 1前・後、2前	2 2 2 2 2							兼3 兼3 兼4 兼2 兼2	全学共通科目で開講しており、クラス数減少のため。(29) 全学共通科目で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(29)
教養特別科目	人間・社会・自然の理解	身体と健康の科学 憲法と社会 政治と社会 経済学 現代社会論 科学技術史 環境科学概論 生命科学 地球科学 物理の世界と先端技術 物質科学	1前・後、2前 1前・後、2前 3前・後、4前 3前・後、4前 1前・後、2前 1前・後、2前 1前・後、2前 3前・後、4前 3前・後、4前 3前・後、4前 3前・後、4前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼6 兼4 兼2 兼3 兼5 兼3 兼2 兼9 兼4 兼2 兼3 兼6 兼3	全学共通科目で開講しており、クラス数減少のため。(29) 全学共通科目で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(29) 全学共通科目で開講しており、クラス数減少のため。(29) 全学共通科目で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(28)
	総合	課題探究セミナー 総合学際科目	2後 2後	2 2								兼19 兼22 兼17 兼1
教養特別科目		イングリッシュアクティブラーニング1 イングリッシュアクティブラーニング2 イングリッシュアクティブラーニング3 スポーツアクティブラーニング ソーシャルアクティブラーニング 国際インターン 国内インターン ボランティア 総合科学特論	3前 3後 3前・後、4前・後 3前・後、4前・後 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 4前・後	1 1 1 2 1 1 1 1 2					1		兼2 兼2 兼2 兼5 兼1 兼1 兼1 兼1 兼5	集中 集中

専門科目	専門基礎科目	数学基礎	1前	2						兼2 兼3 複数学科で開講しており、クラス数増加の為、科目担当者を追加した。(29)	
	微分積分	1後	2							兼2	
	微分方程式	2前		2						兼2	
	応用数学	2後		2			1				
	線形代数基礎	1前	2							兼2	
	線形代数応用	1後		2						兼2	
	基礎統計学	2前		2						兼2	
	物理学基礎	1前	2							兼2	
	物理学実験	1後		2						兼5	
	化学基礎	2前		2						兼2	
	専門基礎科目	デジタルものづくり	1前		2			1			
	機構学	1後		2			1				
	力学	1後		2			1				
	材料力学	2前		2				1			
	電気磁気学	1後		2			1				
	電気回路	2前		2				1		+	担当教員昇格のため。(29)
	電子デバイス	2前		2			1				
	機械電子創成概論	1前	2				6 5	4 5 6		+	オムニバス 共同(一部) 理解力を深めるため、専任教員を追加した。(28) 教育効果を考慮し、担当者の変更。(29)
	機械電子創成基礎実験・実習	2前	2				2	2			共同
	専門展開科目	機械設計製図学	2後		2		1				
	機械力学	3前		2				1			
	機械加工法	2後		2			1				
	材料とその性質	2後		2			1				
	シミュレーション工学	3後		2				1			
	トライボロジー	3前		2			1				
	熱・流体工学	3後		2				1			
	精密加工	3後		2			1				
アナログ回路	2後		2			1					
デジタル回路	2後		2				1				
半導体電力変換工学	3前		2			1					
電気機器学	3後		2			1					
プログラミング言語	2後		2			1	1			オムニバス	
組込みシステム	3前		2				1				
ネットワークプログラミング	3後		2				1				
システム制御理論	3前		2			1					
センサ工学	3前		2				1				
システム制御工学	3後		2			1					
計測工学	3後		2						1		
機械電子創成発展講義1	4前		2			1	2			オムニバス	
機械電子創成発展講義2	4前		2			2	1			オムニバス	

専門科目	技術者倫理	4前		2		1						
	機械電子創成基盤実験・実習	2後	2			3	2 3					共同 理解力を深めるため、専任教員を追加した。(29)
	機械電子創成応用実験・実習	3前	2			1			1			共同
	機械電子創成発展実験・実習	3後	2			6	4		1			共同
	ゼミナール1	4前	2			6	4 5		1			理解力を深めるため、専任教員を追加した。(28)
	ゼミナール2	4後	2			6	4 5		1			理解力を深めるため、専任教員を追加した。(28)
	卒業研究	4通	5			6	4 5		1			理解力を深めるため、専任教員を追加した。(28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
22	88	0	110	22	88	0	110	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 該当なし </div>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	西浜運動場 ・新習志野校舎より徒歩5分(約600m) ・津田沼校舎よりバス15分(約4km) 千種校地 ・津田沼、新習志野両校舎よりバス約40分(直線約8km) 飯岡校地の土地地籍の更生・再測量に伴う変更(H28)		
	校舎敷地	157,062.46 m ²	0 m ²	0 m ²	157,062.46 m ²			
	運動場用地	253,310.00 m ²	0 m ²	0 m ²	253,310.00 m ²			
	小 計	410,372.46 m ²	0 m ²	0 m ²	410,372.46 m ²			
	そ の 他	77,627.40 m ² 77,190.40 m ²	0 m ²	0 m ²	77,627.40 m ² 77,190.40 m ²			
	合 計	487,999.86 m ² 487,562.86 m ²	0 m ²	0 m ²	487,999.86 m ² 487,562.86 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新食堂棟の工事計画変更による数値変更(H28) 食堂棟及び購買棟の登記確定、4号館附属施設(ポンプ室)の解体、7号館の解体、実験室[NMR(分子構造測定機器室)]の解体、講義棟建設による数値変更(H29)		
		141,326.55 m ² 142,596.95 m ² 142,602.53 m ²	0 m ²	0 m ²	141,326.55 m ² 142,596.95 m ² 142,602.53 m ²			
		(141,326.55 m ²) (-142,596.95 m ²) (-142,602.53 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(141,326.55 m ²) (-142,596.95 m ²) (-142,602.53 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	96 室	48 室	306 室	5 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の増加に伴う変更(H28)		
	工学部 機械電子創成工学科			12 11 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
	工学部 機械電子創成工学科	244,922 [31,637] (227,333 [26,477]) (-219,867 [-25,710]) (-212,530 [-25,153])	3,953 [1,697] (3,660 [1,682]) (-3,645 [-1,676]) (-3,953 [-1,697])	3,463 [3,450] (4,139 [4,125]) (-3,470 [-3,457]) (-3,463 [-3,450])	2,760 (2,387) (-2,576) (-2,600)	0 (0)	0 (0)	
	計	244,922 [31,637] (227,333 [26,477]) (-219,867 [-25,710]) (-212,530 [-25,153])	3,953 [1,697] (3,660 [1,682]) (-3,645 [-1,676]) (-3,953 [-1,697])	3,463 [3,450] (4,139 [4,125]) (-3,470 [-3,457]) (-3,463 [-3,450])	2,760 (2,387) (-2,576) (-2,600)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	館内を整理したことによる 収納可能冊数の増加 (H28)				
	4,707 m ²	1,117 1,028	328,175 317,750 316,000	設備拡充による閲覧座席数 及び収納可能冊数の増加 (H29)				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			体育館の登記確定による数 値変更 (H29)			
	3,657.47 m ² 3,674.79 m ²	武道館・屋内練習場・野球場 陸上競技場・ラグビー・サッカー場						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	1,100 千円	1,100 千円	図 書 購 入 費	6,100 千円	6,100 千円	6,100 千円
		共 同 研 究 費 等	5,300 千円	5,300 千円	設 備 購 入 費	11,100 千円	11,100 千円	11,100 千円
学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,350 千円	1,380 千円	1,410 千円	1,440 千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入等により維持する。					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	千葉工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収定員	学位又は称号	平均入定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	140	-	560	学士(工学)	1.09	平成28年度	第1・2年次 新習志野校舎 千葉県習志野市芝園2丁目1番1号 第3・4年次 津田沼校舎 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号	
機械電子創成工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.17	平成28年度	同上	
先端材料工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.19	平成28年度	同上	
電気電子工学科	4	140	-	560	学士(工学)	1.11	平成28年度	同上	
情報通信システム工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.24	平成28年度	同上	
応用化学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.11	平成28年度	同上	
機械サイエンス学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成15年度	同上	平成28年学生募集停止
電気電子情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成15年度	同上	平成28年学生募集停止
生命環境科学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成15年度	同上	平成28年学生募集停止
建築都市環境学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成15年度	同上	平成28年学生募集停止
デザイン科学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成15年度	同上	平成28年学生募集停止
未来ロボティクス学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成18年度	同上	平成28年学生募集停止
創造工学部									
建築学科	4	140	-	560	学士(工学)	1.16	平成28年度	同上	
都市環境工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.20	平成28年度	同上	
デザイン科学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.23	平成28年度	同上	
先進工学部									
未来ロボティクス学科	4	120	-	480	学士(工学)	1.16	平成28年度	同上	
生命科学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.11	平成28年度	同上	
知能メディア工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.22	平成28年度	同上	
情報科学部									
情報工学科	4	140	-	560	学士(情報科学)	1.13	平成13年度	同上	
情報ネットワーク学科	4	140	-	560	学士(情報科学)	1.17	平成13年度	同上	
社会システム科学部									
経営情報科学科	4	110	-	440	学士(経営情報科学)	1.20	平成13年度	同上	
プロジェクトマネジメント学科	4	110	-	440	学士(プロジェクトマネジメント)	1.13	平成13年度	同上	
金融・経営リスク科学科	4	60	-	240	学士(リスク科学)	1.18	平成21年度	同上	

大学の名称	千葉工業大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
工学研究科								
機械サイエンス専攻 博士前期課程	2	80	-	160	修士(工学)	0.55	平成16年度	千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
電気電子情報工学専攻 博士前期課程	2	70	-	140	修士(工学)	0.59	平成16年度	同上
生命環境科学専攻 博士前期課程	2	80	-	160	修士(工学)	0.46	平成16年度	同上
建築都市環境学専攻 博士前期課程	2	80	-	160	修士(工学)	0.41	平成16年度	同上
デザイン科学専攻 博士前期課程	2	40	-	80	修士(工学)	0.57	平成16年度	同上
未来ロボティクス専攻 修士課程	2	30	-	60	修士(工学)	0.96	平成21年度	同上
工学専攻 博士後期課程	3	24	-	72	博士(工学)	0.54	平成16年度	同上
情報科学研究科								
情報科学専攻 博士前期課程	2	70	-	140	修士(工学)	0.31	平成16年度	同上
情報科学専攻 博士後期課程	3	4	-	12	博士(工学)	0.31	平成16年度	同上
社会システム科学研究科								
マネジメント工学専攻 博士前期課程	2	40	-	80	修士(工学)	0.21	平成16年度	同上
マネジメント工学専攻 博士後期課程	3	2	-	6	博士(工学)	0.48	平成16年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	<h1>該当なし</h1>		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 機械電子創成工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会（関係規程：千葉工業大学FD委員会規程）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD委員会（構成：委員長・委員長の指名する専任教員若干名・学生センター部長）は、原則毎月1回以上開催し、全ての開催について委員長を除く3分の2以上の委員が出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 (1) FD推進のための企画及び実施に関する事項 (2) FDに関する報告書等の作成に関する事項 (3) 学長から諮問された事項 (4) その他FDの推進に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 授業アンケート実施及び公開 ・ 授業点検書 ・ FDフォーラム ・ 授業公開 ・ 各種研修会の実施</p> <p>b 実施方法 ・ 授業アンケート：全授業を対象に受講学生に対して各学期末に実施し、高評価の教員に対しグッドレクチャー賞を表彰し、前期及び後期の結果を総合しベストティーチャー賞を表彰している。 ・ 授業点検書：全授業を対象に担当教員が各学期終了後に作成している。 ・ FDフォーラム：講演会、ポスターセッションなどを実施している。 ・ 授業公開：授業アンケートにより高評価の授業について授業公開を実施している。 ・ 各種研修会の実施：外部講師を招き各種研修を実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ FDフォーラム（講演会）：「学び方を学ぶ授業事例—本学学生の学びに対する意識の変化—」（参加者数152名） ・ FDフォーラム（ポスターセッション）：発表件数16件（参加者数167名） ・ FD講演会及びFDラボ：「今あるICTを活用した授業改善：最小のICTで最大の効果を」「PBL型授業に有用なフレームワークの体験」（参加者数122名） ・ 授業公開：前期8科目（平成28年度参加者数18名）後期8科目（参加者数20名） ・ 各種研修会の実施：アクティブラーニングへの転換研修 「学生の資質、能力に応じた授業設計と適切な介入方法」（参加者数22名） 「学生が積極的に参加する魅力的な学習の場の創生」（参加者数27名） 「カリキュラム体系における授業の位置付けと役割」（参加者数11名）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 各教員が授業内容、方法を改善するために授業点検書を作成し、FD委員会に提出している。委員会では、その分析結果を教員および学生に対して、学内のポータルサイトを通じて、授業点検書の要点について公開をしている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 ・ 全授業を対象に受講学生に対して各学期末に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 教員には、教授会で報告し、学内の教職員情報サイトで公開している。 ・ 学生には、学内のポータルサイトを通じて、アンケート結果の一部を公開している。</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的の達成にむけて、開設初年度は、組織的な学生募集により当初計画通りの入学者選抜試験を実施し、入学定員110人に対して入学者127人、開設2年目である平成29年度は132人を受入れた。
また、設置の趣旨に掲げた教育研究上の目的を達成するため、設置計画に基づく授業科目（教養基礎科目30科目、教養共通科目15科目、教養特別科目4科目、専門科目26科目）を開設するとともに、当該科目を担当する教員（専任12人、兼任49人、兼任76人）の採用及び発令を行った。
施設設備の整備計画は、新習志野校舎の学生厚生施設・体育施設を3月下旬に当初計画通り竣工し、設置計画に基づく整備を行った。
管理運営については、教授会をはじめとする各種委員会等、教学面における管理運営体制の下、教育研究活動の水準の一層の向上に努めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成26年度に実施した自己点検・評価を平成27年4月1日に公表した。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成27年4月）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に（財）日本高等教育評価機関の評価を受審し、認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成29年5月31日)